

あおやぎレポート

第1号

平成 29 年 8 月
越前町議会議員
青柳良彦

去る 3 月 5 日に行われました、越前町町議会議員選挙におきまして、皆さまの温かいご支援によりまして、前回に引き続き町議会に送りだしていただきました。誠にありがとうございました。
議会が少しでも身近なものとなりますように、この報告書を作成いたしました。

さて、越前町も合併してから早 12 年が経過し、いよいよ合併自治体としての実力が問われる時期が来たと思います。
合併当時と現在では、町を取り巻く状況は大きく変化し、解決困難な問題も山積しています。

また、これからの 4 年間は、合併特例により大きく膨らんだ財政規模を、標準的な規模に抑えながらサービスの堅持という、難しい財政運営が求められます。これらを踏まえて、6 月定例会におきましては今後の財政運営について一般質問をいたしました。

なお、今回のレポートでは、3 月定例会から 6 月定例会までの主なものの、6 月定例会での一般質問等をご報告いたします。

—————目 次—————

- 2 ページ～4 ページ・・・・・・・・・・3 月定例会（補正予算、当初予算関連）
- 5 ページ～7 ページ・・・・・・・・・・6 月定例会（補正予算関連、一般質問）
- 8 ページ・・・・・・・・・・朝日地区関連事業

3 月定例会

条例の改正の他、平成 28 年度 3 月補正予算、平成 29 年度当初予算、人事案件などが提出されました。

平成 28 度 3 月補正予算

5 億 3,208 万円を追加し、一般会計の総額を 139 億 6,537 万 5 千円とするものです。

追加分の、5 億 3,208 万円の主なものは、統合学校給食センター建設工事関連の 4 億 9 0 0 万円です。

統合学校給食センターの総事業費は、約 13 億 8,000 万円を見込んでいます。

財源の主なものは、合併特例債 7 億 9,000 万円です。

統合学校給食センターについて

所在地・・・・・・越前町江波 6 3 字 7 6 番地 3（宮崎コミセン前）

敷地面積・・・・・・5, 3 9 2 m²

構造・・・・・・鉄骨造 一部 2 階建

建築面積・・・・・・2, 9 1 2 m²（延床面積）

能力・・・・・・1 日当たり最大 2, 5 0 0 食

事業年度・・・・・・平成 28 年度～平成 30 年度の 3 ヶ年継続事業

業務開始予定・・平成 30 年 9 月



主な特徴

シャッター式プラットホーム・・・・・・虫や埃の侵入を防止

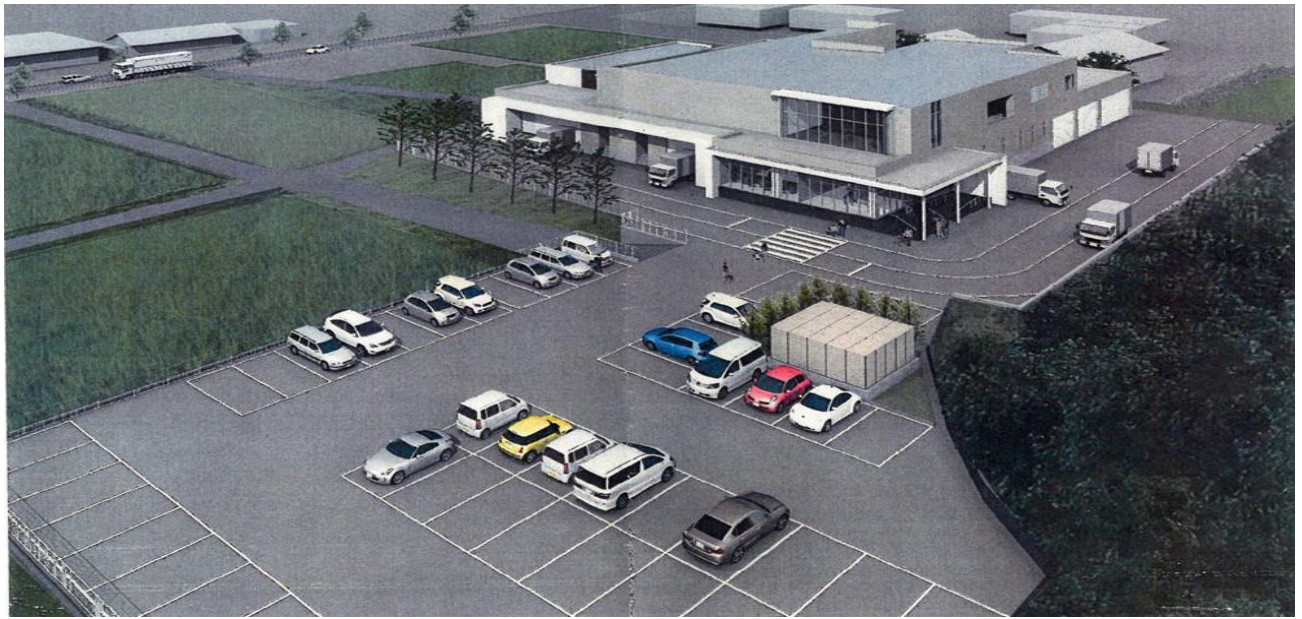
独立したアレルギー食対応室の設置・・30 食以上の除去食・代替食に対応

適温給食に配慮・・・・・・配送直前まで冷蔵・冷凍が可能

コンテナイン消毒システム・・・・・・震災に強く、食器とコンテナを同時に消毒保管する衛生的な消毒システム

部分使用可能な夏季保育所調理対応・・保育所用の独立した調理室の設置

統合学校給食センター鳥瞰図



外観図(西側)



現在、統合学校給食センターの運営方法について、町から提示されました業務委託についての協議が始まる予定です。

町は、業務委託によるコストダウンのメリットを主張していますが、給食業務が民間委託になると調理業務がマニュアル化され、現場の創意工夫（おいしくする工夫やベテラン調理員の熟練の技）が不要になります。

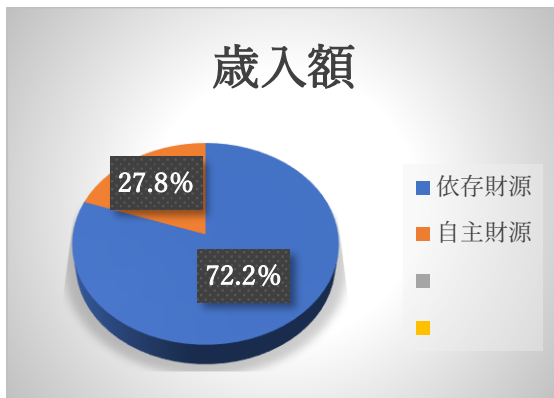
また、業務委託契約では業務の範囲内だけの対応となるため、非常時の炊き出しなど突発的な事態に臨機応変に対応できなくなる可能性もあります。

給食センターの業務は、コスト面だけではなく隠れた質の部分がより大切ではないでしょうか。十分な協議をした上での業務委託が望ましいと思います。

平成 29 年度当初予算

	平成 29 年度予算額	平成 28 年度との増減額
一般会計	1 2 4 億 1, 0 0 0 万円	▲1 億 7, 0 0 0 万円
特別会計	6 5 億 9, 9 9 5 万 4 千円	▲1, 3 8 1 万 4 千円
事業会計	8 億 5, 4 4 2 万円	▲2, 3 9 0 万 6 千円
合計	1 9 8 億 6, 4 3 7 万 4 千円	▲2 億 7 7 2 万円

一般会計の内訳



町税などの自主財源

21 億 8,000 万円余・・・27.8%

地方交付税・町債などの依存財源

89 億 5,400 万円余・・・72.2%

合計では越前町の収入は、**7 割以上**が国や県、借入などからのお金で賄われています。

地方交付税は本年度、5 2 億円が国から交付されていますが、このままでは平成 3 2 年度には、1 2 億円減の 4 0 億円（見込み額）となり、平成 3 2 年度当初予算においては、一般会計予算で 1 0 0 億円以下（本年度 124 億円余）の大幅な減額予算編成となり、これまでの行政サービスが困難になることが予想されます。

現在の国からの交付金

5 2 億円



1 2 億円減額

平成 3 2 年度見込み

4 0 億円

平成 2 8 年度末時点での町債残高（借入金）と財政調整基金（貯金）

全部門合計で、1 8 6 億 2, 7 3 2 万円余の町債（借金）があります。

貯金に当たる財政調整基金は、2 7 年度末で約 3 2 億円余となっています。

平成 2 8 年度元利償還金（返済金）

元利合計・・・26 億 1,118 万円余を毎年返済しています。

6月定例会

7億5,215万4千円を追加し、一般会計予算の総額を131億6,885万3千円とするものです。

主なものは、国体にむけて体育施設費として県立ホッケー場管理棟改修工事などの6,700万円余、給食運搬車7台分6,000万余などです。

西田中関連および朝日地区関連の主なものは、次のとおりです。

補正予算の中で、観光施設用地購入として900万円が計上されていることについて全員協議会での私の質疑をご報告いたします。

観光施設用地購入について

物件詳細

地番・・・・・・・・越前町厨 71-334-2 ほか 3 筆

土地面積・・・・・・・・1570.48 m²

建物・・・・・・・・鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 昭和49年築

建築延べ面積・・2060.53 m²

旧かに加工場・・木造平屋造 昭和53年築

建築延べ面積・・23.82 m²

これまでの経緯

今回、所有者の相続関係により、町に対し購入の依頼があり、町は「道の駅越前」の北側隣接地でもあることから、駐車場のスペースが少ないため、道の駅エリアの拡充に活用する目的で、所有者が競売価格と諸経費を合算した価格900万円での用地購入費が唐突に今回の補正予算に要求されました。

観光施設用地購入について私の質疑（抜粋）

（青柳） 一般的に土地の購入は更地が基本であるが、今900万円で購入できても、地下室を含めた解体工事に数千万円の事業費が見込まれる。解体費用だけでどのくらい見込んでいるのか。

（副町長） 概算で3,000万円～4,000万円を見込んでいる。

（青柳） 解体だけで4,000万円、さらに駐車場の整備費をいれると合計で5,000万円以上の経費が掛かることになる。車場スペースが足りないのであれば、南側に隣接している利用頻度の低いグラウンドを使用すべき。現に日曜、祝日やイベント開催時には臨時駐車場として利用している。本格的改修工事をしても数分の一の費用で可能ではないのか。

(副町長) 隣接しているグランドは地区や町の行事で使用しているので、駐車場にはできない。

(青柳) 一番人口の多い朝日地区では利用頻度の高かった体育館が2つも取り壊され、利用していた人たちは、他地区の体育館などを利用してやり繰りしている。行事の代替は地元の他のグランドで用が足りるのではないのか。また、購入予定地は、施設から約250mも離れていて、利便性に疑問がある。

(副町長) 観光拠点の周辺環境の整備ということで、ご理解いただきたい。

(青柳) 突発的に出てきた案件に飛びつくかのような、計画性のない観光拠点づくりには、疑問が残る。

以上が、観光施設用地購入に関しての全員協議会での私の発言でしたが、答弁はすべて副町長が行い、町長の発言がないまま、平行線の状態で終わりました。

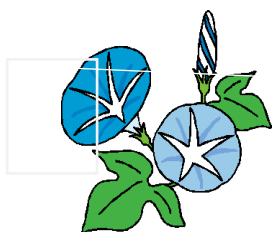
私は、総務厚生文教常任委員会に属しているため、この案件を所管している産業土木常任委員会にて十分な協議をお願いしました。

産業土木常任委員会での協議の結果は、長年空き家として存在しており、取り壊すことによって景観が良くなる等の理由で可決すべきという結論でした。

今後とも、是々非々をモットーに、指摘すべきは指摘して厳しい財政状況の中で、私なりの最善の施策を提案していきたいと思います。



対象の物件は真砂屋という旅館でした



6月定例会一般質問

「財政運営の健全化に向けた方針について」

問

- ① 今後、健全な財政運営を行うためにどのような具体策を考えているのか。
- ② 今回の補正予算編成にあたって、2期目の内藤町政として1期目に積み残した課題や問題点を解決していくために、どのように予算に反映させたのか。今後4年間の方針も含めて回答願います。

答（町長）

- ① 地方交付税は、ここ数年55億円前後で推移しているが平成32年度には、40億円前後まで減少するものと試算している。

現在の財政状況は、実質公債費比率が10.5%と健全な状況にある。

今後もこの健全な状況を維持しながら、なお一層の行財政のスリム化を図るため、使用頻度の低い施設の統廃合、指定管理や民間力の活用等をより強く推進していきたい。

- ② 観光立町を確立するため、海土里豊かな活力ある町を創造する、第一歩となる予算を編成した。また、公共施設の整備促進と空き家対策、地場産業の活性化と観光振興を重点施策とした。

今後の方針としては、最重要課題である人口減少対策については、企業誘致による雇用機会の創出、民間も含めた宅地開発、UIJターンや創業支援、新規就労者の誘致を通して、定住人口の増加を図り、インバウンド対応や農家民宿・民泊の推進、観光拠点の再整備を通して、流入人口の増加を推進したい。

また、役場庁舎については、新築を含めた改修計画を早急に策定し、合併特例債の借入期限である平成31年度までに建設したい。

再質問

問 財政縮小時代を見据えた、町長独自の「内藤カラー」といえるような手法、施策は。

答 原則は、「入るを量りて出づるを制す」という考え方で財政を進めていきたい。収入をしっかりとつかまえて、それに対応する支出をしていく。活力を失わないよう、注意を払いたい。

朝日地区関連（主なもの）

コミュニティ助成事業

朝日区が実施する新公民館の備品整備に対し「越前町コミュニティ助成事業助成金実施要綱」に基づいて交付されるもの。

事業費・・・・・・・・・250 万円

助成事業内容・・・折り畳みテーブル 30 台 椅子 150 脚 椅子収納台車 5 台
パネルスクリーンセット 5 セット

農業体質強化基盤整備事業

圃場の排水状況を改善するために、岩開・上川去の 2 地区で暗渠排水を実施するもの。

事業費・・・岩開 1,220 万円 7.6ha

上川去 1,520 万円 9.5ha

社会資本整備総合交付金事業

国の内示を受け、道路網の構築や道路構造物の長寿命化を図るもの。

路線名等・・・・・・光が丘大橋塗装修繕工事費 1 億 1,700 万円

町道栃川線 消雪整備工事費 4,000 万円

排水路整備工事費 1,500 万円

宝泉寺グラウンド線 } 道路改良工事・委託料
国体線 } 5,200 万円

都市再生整備事業

国の内示を受け、道路網の構築や道路構造物の長寿命化を図るもの。

消雪整備工事費・・・新庄団地 4,800 万円

田中線 1,850 万円

あながき
選挙後、2 回の定例会が開かれま
した。
今回の一般質問では、「内藤カラー
といえる独自の施策」は何かを質
しました。
レポートの中にもありますよう
に、平成 32 年からは、厳しい財政
運営が待ち構えています。
これからの議会に求められること
は、優先順位を間違えることのな
いよう、理事者側にはつきりと意
思表示をすることではないでしょ
うか。
地区ごとの事情がある中で、難し
いことですが、町や町民の皆さま
にとって何が大事なのかを見誤る
ことのないよう、微力ではありま
すが、皆さまのご意見を聞きなが
ら、議員活動をしていきたいと思
います。